



令和5年度 茨城県優良図書紹介【高校生・勤労青少年向け】



『宙ごはん』 町田そのこ (小学館)

ごはんを作ること、そして食べること。様々な問題を抱えた家族を料理が癒し、たくさんの縁を繋げていく。

ごはんを通して複雑な家庭で育つ主人公・宙(そら)の成長と周りの人々の変化を描く作品。



『笹森くんのスカート』

神戸遥真 著、みずす 絵 (講談社)

笹森くんはどうしてスカートをはいて登校しているの？ジェンダーフリーの制服を導入した高校に通う登場人物たちが、「自分らしさとは」、恋愛、友情… 思春期に抱えるテーマを軽やかに描く。



『両手にトカレフ』 ブレイディみかこ (ポプラ社)

貧困、ネグレクト、虐待、ヤングケアラー。過酷な環境の中で弟を守りながら必死で生きる少女ミア。ある時、日本人女性カネコフミコの自伝に出会う。「別の世界は存在する」「ここにある世界は変えられる」ことを2人の少女が教えてくれる。



『やらかした時にどうするか』

畑村洋太郎（ちくまプリマー新書）

「失敗は成功のもと」とは古くから言われる言葉。でも現代は「失敗に厳しすぎる時代」。そんな時代を生き抜くために、「失敗」との上手な付き合い方を学び、果敢にチャレンジする力を身につけよう！



『6カ国転校生ナージャの発見』

キリーロバ・ナージャ（集英社）

日本の学校では一人ひとりが黒板に向かっていすに座り、鉛筆とノートを使って授業を受ける。でもそれって「ふつう」なの？6カ国を転校して教育を受けてきた作者の異文化体験が面白い。



『ウクライナから来た少女ズラータ、16歳の日記』

ズラータ・イヴァシコワ（世界文化社）

ある日突然戦争になったら？そんなことを考えたことはあるだろうか？テレビやネットで報道されているロシアの軍事侵攻を実際に体験し、命がけで日本への避難を試みたウクライナの少女、ズラータの日記。